

# 総務常任委員会 行政視察報告書

総務常任委員会では、高松市及び京都市、福山市を行政視察しました。  
概要は以下のとおりです。

(実施期間) 令和5年5月23日～令和5年5月25日

(視察都市) 高松市、京都市、福山市

(視察内容)

- ・高松市           ・LIVE119 映像通報システム
- ・京都市           ・京都市市民防災センター
- ・福山市           ・民間人材の活用に関する取組

〔高松市〕

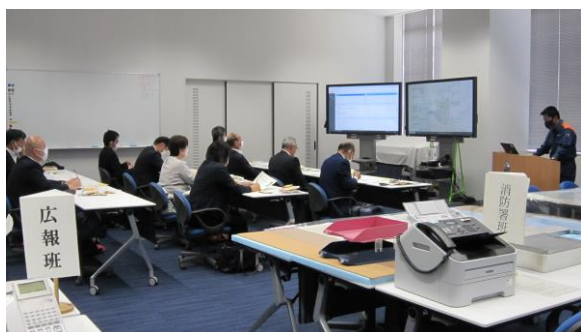
高松市では、L I V E 119 映像通報システムについて説明を受けた。

当該システムは、通報者は映像を送信することで、言葉では伝えられない現場の詳細を明確に消防へ伝えることができるとともに、現場へ向かう消防隊・救急隊へ映像を共有することができるものである。

第6次高松市総合計画のうち、主要施策である「消防救急の充実強化」の成果指標で救命率向上のため、指令管制員に口頭指導の向上が求められたこと、また、バイスタンダー（周りの人に119番通報やAEDの確保などの指示を与え、心臓マッサージやAEDによる電気ショックで傷病者の救命に取り組む人）に対して行う口頭指導が正確に伝わらず有効な応急手当が行われないケースがあることから、当該システムの導入検討を始め、令和4年10月から本格運用を開始した。

現状の諸課題として、通報者は慌てているため、スマートフォン操作が難しい傾向にあること、また、一般的に認知されていないため、その都度通報者へ説明が必要なが挙げられていることから、今後も幅広い広報活動が必要と考えている。

委員からは、L I V E 119 映像通報システムにて用いた映像について、マスコミ等への提供があるのかなどの質問が出された。



(高松市：視察風景①)



(高松市：視察風景②)

〔京都市〕

京都市では、京都市市民防災センターについて説明を受けた。

京都市市民防災センターは、敷地面積 1,802 m<sup>2</sup>に地上 4 階、地下 1 階で構成されている、延べ 3,550 m<sup>2</sup>の建物であり、平成 7 年 9 月 1 日に開館してから 28 年目を迎える。地下 1 階は倉庫として活用されており、1 階から 3 階までは、様々な体験室が整備され、4 階は主に講習会場等として利用されている。

当該施設の運営は京都市防災協会事務局 4 名、指導員（嘱託職員） 7 名、業務委託のインストラクター 6 名で行っており、令和 3 年度における来館者数は 28,482 人、自主防災組織、事業所、学校等の団体の来館は 203 団体であった。

当該施設に対する市民からの要望については、毎年一定期間、来館者アンケート調査を実施しており、「体験したことで、防災の重要性が理解できた」、「自分だけでなく、周りの人にも広めたい」、「駐車場が狭い」、「待ち時間が長く、スムーズに体験できない」などの声があるようである。

今後は、経年により建物全体に老朽劣化が進んでいることから、施設の機能を十分に発揮できるよう管理を行い、市民サービスの低下を招かないようにするとともに、消防局と連携を密にして、「災害に強い市民づくり」を推進する必要があると考えている。

委員からは、当該施設の来場者の内訳や入館料においては市内・市外在住で異なるのか等などについて質問が出された。



（京都市：視察風景①）



（京都市：視察風景②）

〔福山市〕

福山市では民間人材の活用についての説明を受けた。

民間人材の活用について、福山市では人口減少対策などの重要な施策を効果的に推進するため、行政だけの「自前主義」から脱却し、課題発見とその解決に向けた新しい発想を取り入れたい一方で、人材獲得競争が激化する中、民間企業の最前線で活躍する専門性の高い人材を市職員として獲得することは難しいことから、兼業・副業限定の高度専門人材（戦略推進マネージャー）を募集することとなった。

また、募集に当たっては、求人情報を市のHPに掲載しただけでは、首都圏の高度専門人材にリーチすることは困難なため、彼らとのマッチングサービスに強い株式会社ビズリーチと連携して募集を行った。

戦略推進マネージャーの成果としては、新たなネットワークの構築ができたことや戦略推進マネージャーと一緒に働くことで、有効な事業構築方法を学んだり、行政職員にはない切り口での課題発見や問題解決の方法を学んだりできたことである。

今後の展開としては、令和4年度は市内企業に対して兼業・副業による高度専門人材を活用について提案、マッチングを行ったことから、令和5年度からは、市外の企業に対し、兼業・副業による高度専門人材の活用を提案するとともに、企業に対してマッチングしていくと考えている。

委員からは、外部人材の獲得について様々な方法が考えられる中で、民間企業と連携して募集を行った理由等について質問が出された。



（福山市：視察風景）